



本市の土砂等の埋立規定について 給食費の無料化と出産祝い金の取組について

吉野 高史 議員



質問 平成30年1月、本市では土砂等による埋立等を規制する条例が制定されたが、「眠りについたまま目覚めないパークイン」の対岸の異様な盛土について、どのように対応しているのか。

答 無許可の埋立であるため、事業者には、造成する区域を明記した図面と事

質問 近隣の皆さんが、土砂埃で洗濯物が外に干せないと言っている。このような状況等について、県や警察と、どのように対応しているのか。

答 県に情報を提供しており、連携して対応してい

ます。悪質な事案が発生した場合には、県や警察と連携し、対応を図ります。

質問 令和3年度の予算には、第3子以降の給食費無料化があるが、内容は。

答 小学1年生から中学3年生までの児童生徒を3人以上養育している保護者



に対し、9月から、第3子以降の給食費を全額助成するものです。



質問 第1子からの給食費完全無料化についての方向性(対応)はどうか。

答 未来ある子どもたちのために、子育て支援は大変重要と考えています。

要望 一般的な家庭に例えると月30万円の収入で3千円を節約するのと同様に、予算をやり繰りすれば無料化も可能です。若い世代を応援していただきたい。

質問 出産祝い金の復活と増額について、今後どのように考えているのか。

答 現状では、出産祝い金の復活は難しいと考えています。子育て環境を整え、少子化対策につながるような支援事業を進めていきたいと考えています。



「里沼」と水辺環境の 保全・水質浄化について

篠木 正明 議員



質問 第6次総合計画に「沼辺文化を継承するための水質浄化」とありますが、これまで河川や沼の保全にどう取り組んできたのですか。

答 氾濫防止のため、昭和40年頃、鶴生田川と城沼はコンクリート製護岸に整備されました。その後、平成に入り、城沼の浚渫と緩

やかで親水性の高い護岸工事が実施されました。また、ヨシ刈りなど、市民の協力で水辺の環境保全が図られています。

質問 鶴生田川の水質が県内ワースト1になったことがありましたが、これまで水質浄化にどう取り組んできたのですか。

答 多々良沼から鶴生田川への導水や生活排水の河川への流出防止のため、公共下水道の整備や合併処理浄化槽への補助を行っています。

質問 鶴生田川の水質悪化の要因の85%は、家庭からの生活排水です。生活排水の浄化によって、河川の水質浄化が図れます。そのために、公共下水道の整備や合併処理浄化槽への補助を行ってきたと思いますが、これをもう一歩進めて、市

町村設置型の合併処理浄化槽事業に取り組めないのか。市町村設置型にすることに、個人負担の軽減や適正な維持管理ができません。どのように考えていますか。

答 市町村設置型の合併処理浄化槽について、検討したことがありましたが、維持費などコスト面の課題がありました。今後は、議員が指摘したことも鑑みながら研究していきたいと考えています。

質問 「里沼」を生かすという点では、私は館林の川魚料理の食文化を地産地消で出来ないかと思っています。山本市長の時代の植樹運動によって、緑の多いまちなったわけですから、将来を見据え、水辺環境の保全、水質浄化の歩みを止めずに行っていただきたいと思いますが、どう考えますか。

答 館林の川や沼は生活に密着していると思います。それを守ることで、次世代の子どもたちに引き継いでいくものと考えています。